

分子研は愛知県岡崎市にあります： 名古屋駅から電車で30分

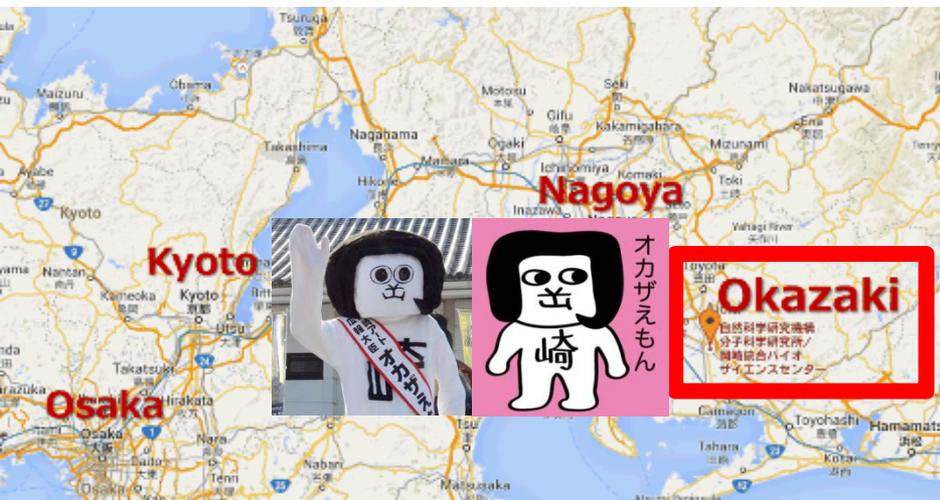


大学共同利用機関法人 自然科学研究機構

分子科学研究所

iino@ims.ac.jp

twitter: @ryotaiino



ラボ面積482 m². 見学歓迎.

http://groups.ims.ac.jp/organization/iino_g/index.html

分子研には大学院があります：総研大



国立大学法人

総合研究大学院大学

THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES [SOKENDAI]

総合研究大学院大学 物理科学研究科

構造分子科学専攻
機能分子科学専攻

博士号を
取ろう！

専攻の概要

分子科学研究所と総合研究大学院大学が一体となって大学院教育を実施しています

分子科学研究所には、総合研究大学院大学の2専攻（構造分子科学専攻・機能分子科学専攻）が置かれており、大学院教育を行っています。分子科学研究所の全教授、全准教授、全助教は、総合研究大学院大学の教員を担当し、全研究所を挙げて大学院教育を実施しています。分子科学研究所が所有する日本有数の研究設備を用いて研究・教育を進めています。構造分子科学専攻と機能分子科学専攻の講義は、分子科学研究所（明大寺キャンパス・山手キャンパス）内の講義室で行われます。



明大寺キャンパス



山手キャンパス

化学・物理・生物にまたがる分子のサイエンスを学び研究します

分子科学研究所には、化学・物理・生物のバックグラウンドを持つ教員が集っており、第一線で研究活動を行っています。教員は、日本全国の主要大学出身者で構成されています。分子をとりあつかうための幅広い知識を身につけられるように、化学・物理・生物にまたがる幅広い講義が用意されており、基礎から応用まで学ぶことのできるカリキュラムが組まれています。

<http://www.ims.ac.jp/education/senkou.html>

分子研の総研大生は全員RAとして雇用 され給与を支給（85万円／年以上）

大学院生経済支援制度

リサーチ・アシスタント制度（RA）

文部科学省が定めた制度で、大学院生が教員の研究補助者として雇用され、給与が支給されます。構造分子科学専攻および機能分子科学専攻では、全年次の大学院生をRA（リサーチアシスタント）として雇用しています。平成25年度のRA雇用実績は以下の表の通りです。

●平成25年度RA雇用実績

	雇用率 1)	一人あたりの受け取り年額 2)
1年次・2年次	100%	85万円以上
3年次・4年次・5年次 (博士後期課程)	100%	99万円以上

1) 1年間通期在学中の大学院生（休学生を除く）に対するRA雇用率。博士後期課程在学者については、日本学術振興会特別研究員、外国人国費留学生を除いた大学院生に対するRA雇用率。

2) 1年通期在学者の受け取り基準年額

頑張り次第で+αの支給や授業料免除も

<http://www.ims.ac.jp/education/support.html>

特に優秀な学生はSRAとして雇用

分子科学研究所SRA支援制度の概要

分子科学研究所 SRA 支援制度 学生募集

分子科学研究所では、総合研究大学院大学(構造分子科学専攻、機能分子科学専攻)に入学する優秀な学生に対し、修学を支援します。

構造分子科学及び機能分子科学専攻では、これまで、全年次の大学院生にRA(リサーチアシスタント)などによる経済的支援を行ってきましたが、これに加えて、平成27年度より、特に優れた研究能力及び将来において研究者となる意欲を有する者をSRAとして採用し、特別時間給を支給する制度を導入することとしました。

※総研大構造・機能分子科学専攻入学者・在学者が対象になります。

1-2年次は170万円／年支給

3-5年次は230万円／年支給

<http://www.ims.ac.jp/education/sra.html>

入学試験の科目と実施時期

5年一貫制博士課程（前期課程相当）入試

書類選考、筆記試験及び面接により実施しています。面接の言語は日本語または英語です。

◆ 英語試験 **英語：TOEFL, TOEICのスコアでもOK**

日本人または日本語を理解する外国人の受験者に対して、TOEFLまたはTOEICのスコアが要求得点（TOEFL-CBT:173, TOEFL-PBT:500, TOEFL-iBT:61, TOEIC:586）以上の場合、英語の筆記試験を免除します。また、日本語を理解しない外国人の受験者に対しては、英語の筆記試験は行わず、TOEFLまたはTOEICのスコアが上記要求得点以上であることを必須事項とします。この場合、TOEFLまたはTOEICが要求得点に満たないと本入試を受験できないため十分注意して下さい。

◆ 専門科目試験 **専門：化学、物理学分野から3題選択**

物理化学、有機化学、無機化学、生物化学、物理学A(古典力学、電磁気学)、物理学B(量子力学、熱統計力学)の6科目のうちから、解答したい2科目を出願時に選択します。各科目は2題で構成されており、選択した2科目4題のうちから試験時に任意の3題を選択して解答します。

◆ 面接 **面接：試験が出来ればほぼ問題なし！**

基礎学力、研究能力、研究意欲などについて質疑応答(20分)を行います。

出願：8月末*、試験：9月末

***冬に二次募集を行う場合もあります**

<http://www.ims.ac.jp/education/entranceexamination.html>